

老人保健施設管理医師総合診療研修会（講義のみ）

【一部】

シラバス		講義時間	講師
1	患者（利用者）本人の視点に立ったチーム医療 老人保健施設管理医師について 施設内連携・施設外連携・老人保健施設における多職種協働 R4システム	約40分	介護老人保健施設「こもれび」・「ふるさと」 顧問 折茂 賢一郎（全老健 副会長）
2	生活の場に則した医療提供 1 生活環境の変化に対応した医療提供、在宅医療（かかりつけ医との連携）、新型コロナ	約60分	介護老人保健施設竜間之郷 施設長 大河内 二郎（全老健 常務理事）
	生活の場に則した医療提供 2 感染症対策・薬剤耐性菌等について	約50分	東京都健康長寿医療センター呼吸器内科 部長 山本 寛
3	QOL維持・向上を目指したケア 老人保健施設の役割について 老人保健施設の在宅復帰・在宅生活支援機能	約60分	介護老人保健施設紀伊の里 施設長 山野 雅弘
	QOL維持・向上を目指したケア1 リハビリテーション処方箋の書き方	約60分	一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 東京湾岸リハビリテーション病院 副会長/院長 近藤 国嗣
	QOL維持・向上を目指したケア2 在宅復帰のためのリハビリテーション	約60分	介護老人保健施設清雅苑 副施設長 野尻 晋一
4	患者（利用者）の意思決定を支援 老人保健施設における終末期医療 終末期医療（老年医学会の立場表明など）	約60分	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授 会田 薫子
5	家族などの介護者もケアの対象に 家族・介護者のケア 家族をはじめとした介護者の負担を理解し、早期に適切な介入	約60分	京都大学こころの未来研究センター 講師 清家 理

【二部】

シラバス		講義時間	講師
6	高齢者の多病と多様性 1 高齢者の病態と生活機能、生活環境をすべて把握する；高齢者総合機能評価	約60分	東京都健康長寿医療センター 理事長 鳥羽 研二
	高齢者の多病と多様性 2 高齢者の栄養とフレイル・サルコペニア	約60分	東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢
	高齢者の多病と多様性 3 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（皮膚疾患、褥瘡、疥癬、带状疱疹等）	約60分	聖隷三方原病院 皮膚科 白濱 茂穂
	高齢者の多病と多様性 4 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（排尿、排便、尿路感染症等）	約60分	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副院長 吉田 正貴
	高齢者の多病と多様性 5 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（発熱、肺炎、口腔ケア等）	約60分	東邦大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授 海老原 覚
	高齢者の多病と多様性 6 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（精神・神経疾患等）	約50分	介護老人保健施設竜間之郷 施設長 大河内 二郎（全老健 常務理事）
7	高齢者の生活習慣病対策 コストと効果のバランスを考慮したケア	約50分	東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授 秋下 雅弘
8	高齢者に対する薬物療法の基本的な考え方 多剤併用の問題点など	約60分	東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授 秋下 雅弘
9	老人保健施設の認知症ケア 1 認知症について（総論）	約60分	東京医科大学病院高齢診療科 特任教授 羽生 春夫
	老人保健施設の認知症ケア 2 認知症の非薬物療法	約60分	認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口 晴保
	老人保健施設の認知症ケア 3 認知症の薬物療法（特にBPSDへの対応、向精神薬の適切な使用方法）	約60分	杏林大学医学部付属病院高齢診療科 教授 神崎 恒一

※上記講義（一部、二部両方）視聴の他、習熟問題、アンケートも全て回答していただきます。

※一部の講義を受講後、二部の講義を受講していただきます。それぞれの部の中では順不同で受講が可能。